

第六表 戸數割納稅階級別による年齢階級別死因別死亡(男女別とす)

(甲) 男子

市名

(昭和十四年中)

年 死 因	年齢						合計
	一歳未満	一歳	二歳	三歳	以下七九歳迄各 歳別	八〇歳以上	
先天性天性							1
先天性弱質及先 形畸性天							2
下痢及腸炎							3
肺炎							4
結核							5
赤痢及疫痢							6
腦出血							7
癌							8
腎臟炎							9
微菌							10
脚氣							11
腦膜炎							12
消化器疾患							13
呼吸器疾患							14
精神神經病 患疾經							15
急性傳染病							16
老衰							17
血行器疾患							18
不慮ノ傷害							19
自殺							20
其他							
計							合

乳幼児診査票の集計及研究

昭和十四年五月實施の國民精神總動員第十三回全國兒童愛護週間に際し、全國四十二地域(市町村)に互り、恩賜財團愛育會並財團法人中央社會事業協會が實施したる乳幼児診査の結果に基き調査研究を行ふことと決定し、直ちに二萬枚を超える同調査票につき集計を開始した。集計項目は四〇項目の多きに達してゐるが、取敢へず集計に著手したるもの左の如くである。

一、地域別、生活程度別集計項目

一、體性、年齢別乳幼児の榮養概評

一、體性、年齢別乳幼児の體重、身長、上膊圍

一、年齢別保育施設利用の有無

一、年齢別健康相談の有無

一、年齢別現在の主食食物

一、職業別乳幼児榮養概評

一、職業別死流産

一、同胞數と子女死亡數

一、地域別生活程度別人工榮養兒に關する集計項目

一、人工榮養の種類別榮養概評

一、父母、家族、同居人に結核肋膜炎に罹患せるも

の否とによる乳幼児の健否

人口問題研究所研究報告會

昭和十四年十二月十一日、本研究所に於ける調査研究の促進に資する爲、昭和十五年一月より毎週一回、研究所内部に於て人口問題研究報告會を開催し、研究官全員輪番を以て研究報告を行ふことと決定し、一月十三日より實施した。三月末日迄の研究報告題名及報告者は以下の如くである。

第一回 婚姻出産率に就いて

左右田研究官

一月十三日